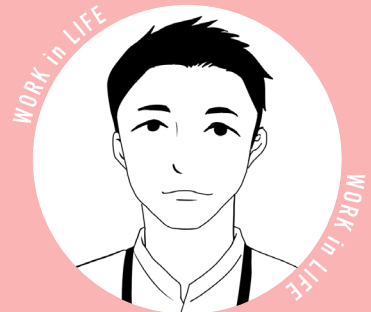


両立社員の ワークライフ

本社部門 課長 Iさん

中途採用入社で活躍しているIさん。
様々な経験を経て、仕事と子育てに対する意識が
変化していったといいます。
両立で苦労したことや上手くやるコツについて伺いました。



Q1. 仕事の楽しさを教えてください。

ANSWER 経営戦略と密接に関わる業務に携われていることに、喜びを感じます。
自分なりの軸を持ちながら幅広く挑戦するようにしていますが、**仕事を通じて新しい世界や考え方を知ることができるのも、楽しいです。**
また、部門方針を咀嚼して伝えると同時に、各メンバーの想いも聞きながら進めていくことは難しい場合もありますが、一つの形になった時に管理職としてのやりがいを感じます。

Q2. お子さんの誕生後、働きかたの意識の変化はありましたか？

ANSWER 子供が生まれた頃は、今よりも両立への意識は低かったです。周りの環境や妻との話し合いを経て、**「仕事と子育ては両立するのが当たり前」**という現在の考え方に徐々に変化しました。
当時は、子育てになるべく関わりたいと思いつつ、残業や国内・海外出張が多く、子育ても結局は「できるところをやっている・手伝っている」程度。正直、「それはそれで生計の主体者として仕方ない」とも考えていました。
しかし、子供が保育園に入り、パパママ達と交流が増えるうちに私の子育てに対する向き合い方が徐々に変わっていきました。子供の送迎はもちろん、家事を分担している夫婦が多く、先輩パパの一人は家事の大部分を担っており、「家族全員が楽しく暮らせることを最優先にしている」という話を聞き、とても感銘を受けました。
また、社外で、女性が大半を占める職場の方たちと一緒に働く機会があったのですが、そこでも多くの気付きを得ることができました。
小さなお子さんを育てながら厳しい成果主義の会社で働く、女性部長や女性課長がいました。高い仕事のパフォーマンスを求められる状況の中、夫婦で協力しながら子育てを両立していました。
もがきながらも凛として働く姿を見ていて、**男性が両立をしないことはむしろ不自然で、今どき役職や性別は関係ない**と思うようになっていきました。

聞いてみました！

ワーク イン ライフ Q&A

Q3. 育児を始めてから仕事観の変化はありますか？

ANSWER 仕事観自体は大きく変わっていません。ただ、メンバー育成の視点で、やるべきこと・そうでないことはハッキリさせるようになってきました。それが結果的に効率的な時間の使い方へ繋がり、両立にもプラスに働いていると感じています。メンバーが主体的に取り組めるよう、目指したい方向性は認識合わせをしたうえで、意図的にまずは任せる・考えてもらう。その上で、私なりのフィードバックを行うよう心がけています。そうすることで、私はチーム運営により注力し、時間のコントロールもしやすくなりました。

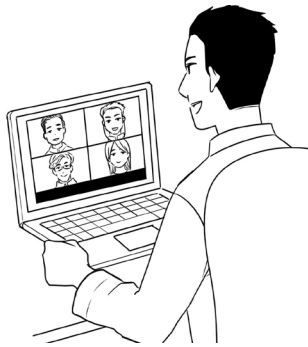
Q4. 子育てとの両立で苦労したことはありますか？

ANSWER 妻がフルタイム勤務に戻ってしばらくは、家庭内で仕事とのバランスを取っていくための試行錯誤が続きました。例えば、家事分担をきっちり分けてみた時期もありましたが、お互い仕事の都合で予定通りにいかないことも多く、険悪な雰囲気になることが増えたのでやめました。
うまくいったり、いかなかったりする中で、**二人で何度も話し合い、時には結構激しくぶつかりながらも、都度何かしらの着地点を見つけて、今に至るという感じです。**結果的に、現時点で明確な役割分担はなく、**「その時にできる方がやる。得意なことを得意な方がやる」**という形になりました。それをお互い自然にできるようになり、大きなストレスなく過ごせるようになったと思います。

Q5.

子育てと仕事を両立する
コツはありますか？

ANSWER



職場に「育児と仕事を両立することが自然」という雰囲気があります。何か家庭にトラブルが発生した時にも相談しやすいですし、チームや部で柔軟な対応が取れる風土があるのがポイントだと思います。そのうえで、部内では数週間分の在宅や出勤、勤務時間などのスケジュールをオンライン上で予め共有して、計画的な業務推進と適切なフォローができるように努めています。

また、子育てと仕事を両立するために、在宅勤務制度を活用しながら神奈川と長野の二拠点生活をしています。朝・夜に家庭の対応もできるので、とても助かっています。

さらに、仕事も子供の対応も体力が不可欠です。疲れていると、特に子育てで忍耐力が落ちて言葉が荒くなる傾向があるので、睡眠の質と量をしっかり確保することを意識しています。

「子育ては、終わってみれば一瞬だった」と実感できるのはまだずっと先です。今は奮闘の毎日ですが、「一年後には今の子供の姿は見られない」と思い、子育てできる大変さと嬉しさを素直に受け止めるようにしています。

Q6.

具体的にどのように
両立されていますか？

ANSWER

妻と事前に家事をする日を決めていて、当番の日には18:00頃までに業務を終了するようにしています。最近では子供が急に体調不良になることもめったにないので、その点でも特に困ることはありません。

出社して連泊になる際は、妻が無理にでも定時で切り上げて全て対応してくれているので、苦勞をかける時もありますが、とても感謝しています。



Q7.

これから両立を目指す方への
メッセージはありますか？

ANSWER

「両立」は、定義も家庭ごとに異なるもので正解はありません。子供の幸せと共に、パートナーや自分の人生も大切にしながら、無理せず続けられる最適などを見つけてほしいです。以前「夫婦の数だけ答えがある」「子育てはマラソン。無理しない」と上司から言われたことがあり、今でも事あるごとにその言葉を思い出します。

Q8.

これからの目指すキャリアや
目標はありますか？

ANSWER

自分なりに組織マネジメントのスタイルを確立し、それを極めること。そして、管理職をしながら子育てとの両立を当たり前で続けていくことが目標です。加えて、全社的に管理職の働きかたの無駄・重複が多いとも感じているので、それらを見直し、より多くの人が仕事と育児を両立できる組織を実現していきたいです。

TIME SCHEDULE

タイムスケジュール

在宅時 (迎えありの日)		
6:30	起床、家事 朝ごはん準備、洗濯・物干し 朝ごはん、身支度	19:00 夕ごはん 子供の対応 勉強など 団らん
7:50	子供送り出し 近所の集合場所まで付き添い	20:30 お風呂
8:15	業務開始	21:30 子供就寝・リラックス
11:45	昼休み 時間があれば掃除	22:30 就寝
18:00	子供迎え、夕ごはん準備	

POINT

POINT

家族みんなで
嬉しかった・楽しかったことを
話し合う夕ごはん

夕ごはん時にその日にあった嬉しかった・楽しかったことを一人2つぐらい話すようにしているのですが、学校での出来事を聞いたり、色々な表情を見ながら生活できていることは、とても幸せだと感じています。ちなみに、料理は今でも苦手です。生姜焼き用の調味料を作るのに、未だに何年も同じ料理本を見ている自分に愕然とする時があります。

インタビュアーより

管理職と子育ての両立に毎日奮闘中のIさん。子育てとの両立に悩んでいる社員のお手本となるような両立をされていて、課長として業務多忙の中、バイタリティの高さに感動しました。両立の仕方は人それぞれですが、本記事により悩みを抱えている方の心が軽くなることを願っています。